

第4回逗子市総合的病院選考委員会概要

- 開催日時 平成28年12月1日(木) 13:30~16:30
- 開催場所 市役所4階議会会議室
- 出席委員 長澤泰委員長、白須和裕委員、槇孝悦委員
- 欠席委員 なし
- 参考出席者 一般社団法人逗葉医師会 池上会長
- 事務局 須藤福祉部長
国保健康課：廣末課長、西海副主幹、橋本主事
- 記録作成者 国保健康課：橋本
- 会議の公開・非公開の別 非公開(情報公開条例第20条第1項第2号に該当)
- 非公開理由 意思決定過程情報であり、公開されると公正かつ適正又は円滑な執行を妨げる恐れがあるため

■会議の概要

1 開会

2 議事

(1) 総合的病院の選考について

- ・参考出席者である池上会長から、参考資料として意見書の提出があった。意見書に基づき、救急体制、小児科医の確保等について検討した。
- ・後方支援病院としての役割を確認するため、逗葉地域の在宅医療の現状、今後の取り組み等について参考出席者の池上会長に確認した。
- ・参考出席者の池上会長に退席いただいた後、前回のヒアリングを受けて、2法人について比較検討を行った。

(主な意見)

医療介護ひかりグループ医療法人光陽会鎌倉ヒロ病院

- ・急性期を担う総合的病院経営についての経験が乏しいのではないかと。
- ・199床では、市が求める在宅療養後方支援病院、地域医療支援病院としての役割を担うことができない。
- ・同一医療圏内の医療機関として、地元の医療需給に通じており、堅実な提案内容となっている。
- ・療養病床が2分の1以上を占めており、市が求める一般病床の急性期型病院と合致していない。
- ・二次救急体制について、小児科夜間救急の体制が考慮されていない。
- ・予定診療科目等に比して医師ほか医療従事者数が少ない。

- ・無料患者送迎バスを計画するなど、地域に対する配慮がなされている。

医療法人社団葵会

- ・在宅療養後方支援病院、地域医療支援病院を目指すとしており、市の公募条件に合致している。
- ・病病連携については、横浜南共済病院の重点的関連病院と位置付けられており、具体性がある。
- ・市民や地域医療機関との関係については、具体的な説明がない。
- ・利用者及び地域住民のための周辺環境の対策についても説明が少ない。
- ・二次救急体制については、一定の要請に応えられている。
- ・大規模災害時等には、災害拠点となり得るような物資の供給等を行う体制が示されていた。
- ・診療科目ごと及び救急体制における医師の配置案には、具体性が伺える。一方で、医師の確保の実現性に関して、懸念される。
- ・全個室の提案は、意欲が感じられるが、差額ベッドの比率・料金設定等については課題である。
- ・提出された建設図面は、動線の処理、面積の配分等が十分でない。

3 その他

- ・医療介護ひかりグループ医療法人光陽会鎌倉ヒロ病院に追加資料として、医師数の内訳について明日までに提出を求める。

4 閉会

(以上)